

The Smile

LIONS CLUBS INTERNATIONAL
DISTRICT 330-B



3月号
MAR

ガバナーテーマ

友愛・協調

奉仕に向けて 新たな船出



ライオンズクラブ国際協会330-B地区

(神奈川県・山梨県・伊豆大島)

<http://www.lions330-b.gr.jp/>

ライオンズクラブ国際協会は世界212の国または領域、142.6万人のメンバーを擁する世界一の奉仕団体です。

●ノルウェー ガイランゲルフィヨルド 洋上に浮かぶクルーズ客船

「障がい者施設利用者講演会」開催

「公開例会 特別講演会」
厚木マルベリー LC

2月8日(木)19時より厚木市アミーあつぎ市民交流プラザ6F会議室において、厚木マルベリーLC(望月淳子会長・会員27人)主催の「障がい者施設利用者講演会」(先着80名)が開催された。

ゲストスピーカーは、柴田和生社会福祉法人県西福社会事務局長様、並びに秦野かな同施設利用者様のお二方である。

まず、柴田事務局長は障がい者への認識を深めて貰おうと「障がい者白書」のデータを使い、分かり易く啓発した。同氏は「平成20年より始めた小さな活動ではあるが、これまでに17名の障がい当事者の方が活動に参加し、それから口コミで少しずつ広がり、聞いてくださった方は延べ6,600名を超えました。地域で皆と一緒に普通に生活する“共生社会”実現のために、中学・高校・大学など教育の場を通じて、より広く伝える機会を作っていただけたら幸いです。この様な講演会開催の声を掛けてください」と、例会プログラムの終わりの頁に言葉を添えている。



次に障がい当事者の秦野さんは、最初は戸惑いや不安でいっぱいだったが、この活動を始めたことを嬉し



く思っているようだ。施設スタッフにサポートされ、かつ言葉の不自由さを押し、必死に来場の皆さんに自身の身の上を語り始めた…。ある日、突然病魔に冒されて体の自由を全て奪われてしまった時、まだ2歳の我が子が居て、その家族に対する想い。必須の車椅子に腰掛けられるまでに相当時間を費やし、様々に心に秘めた想い。体の自由を奪われた暮らしの中で、孫の誕生は素晴らしい出来事で元気を貰ったこと。普通に世間話の相手をして貰うだけでも、新鮮で楽しいこと。さらに今の身の上でも、化粧や髪形が常に気に掛かると女心を覗かせる。だから自分ひとりでできないお洒落を、手伝ってくれる厚木マルベリーLCの皆

さんには感謝!感謝!の気持ちでいっぱいだと言う。そして、話の終わりに自らの闘病体験や想いを語ることで、「ほんの少しでも障がい者に関心を寄せてくれる人が増えたら、とても嬉しく思うし、全ての可能性がゼロでない限りチャレンジし続けます!」と力強く結んだ。

今回の公開例会は、厚木マルベリーLCのメンバーが日本セラピー協会会員であり、障がい者施設や老人ホーム入居者にメイク(女性)やマッサージなどを施すクラブアクティビティに注力しているご縁で、啓発活動の手助けになればとの思いから開催の運びになったそうだ。

取材:PR・情報委員 L須藤 省三
撮影: // 副委員長 L熊澤 悟

- 介護老人福祉施設
- 短期入所生活介護
- 通所介護 ●居宅介護支援
- 相川地域包括支援センター



社会福祉法人 くすのき

ご利用者1人1人を大切に致します

特別養護老人ホーム
メイサムホール

厚木市愛甲2208-1 ☎ 046-220-1165
2018年「地域密着型特別養護老人ホーム メイサムフレール」オープン予定



メイサムホール

検索